

令和2年度
西多摩地域保健医療協議会
「地域医療システム化推進部会」
会議録

- 1 開催方法 書面開催
※ 令和3年2月16日に委員宛てに資料を送付し、意見書の提出をもって出席とした。

2 西多摩地域保健医療協議会「地域医療システム化推進部会」委員

役 職 名	氏 名	備考
一般社団法人西多摩医師会会長	玉 木 一 弘	
一般社団法人東京都西多摩歯科医師会会長	加 藤 裕 正	
一般社団法人西多摩薬剤師会会長	田 中 三 広	
青梅市立総合病院院長	大 友 建一郎	
公立福生病院院長	松 山 健	
公立阿伎留医療センター院長	荒 川 泰 行	
西多摩地域脳卒中医療連携検討会座長 (医療法人財団利定会大久野病院院長)	進 藤 晃	
西多摩地域糖尿病医療連携検討会座長 (野本医院院長)	野 本 正 嗣	
公募委員	秋 間 利 郎	
東京訪問看護ステーション協議会第8ブロック会長 (指定訪問看護ステーションあきる台ケアサービス所長)	栗 原 枝利子	
国立保健医療科学院 国際協力研究部 医療・福祉サービス研究部 上席主任研究官	種 田 憲一郎	
東京消防庁青梅消防署長	古 賀 崇 司	
青梅市健康福祉部長	斎 藤 剛 一	
福生市福祉保健部参事	瀬 谷 次 子	
奥多摩町福祉保健課長	菊 池 良	
西多摩保健所長	播 磨 あかね	

(敬称略)

3 欠席委員

なし

4 議事

- (1) 西多摩保健医療圏地域保健医療推進プランの中間評価について
- (2) 脳卒中医療連携推進事業及び糖尿病医療連携推進事業について

5 報告事項

- (1) 西多摩保健所医療安全支援センターの取組について
- (2) 西多摩保健所歯科保健推進事業について
- (3) 新型コロナウイルス感染症に対する保健所の対応状況について

6 意見の取りまとめについて

意見書は、「事務局に一任」又は意見を記載していただく形式としており、全ての委員から意見書の提出があり、議事は承認された。

なお、各委員からの意見は別紙のとおりである。

令和2年度 西多摩地域保健医療協議会「地域医療システム化推進部会」 御意見取りまとめ

提出委員	御意見	事務局回答
【(1) 西多摩保健医療圏地域医療推進プランの中間評価について】		
種田委員	<p>今年度実施された研修会等は、どのような感染対策をして実施されたのか、具体的にご紹介していただけますでしょうか。</p>	<p>研修会等開催時の感染予防対策としては、三密を避けるため、参加者数を絞り、座席の間隔を十分に確保したうえで、窓を開放し、十分な換気を行いました。また参加者にはマスク着用の徹底と受付での検温、手指消毒に御協力をいただきました。</p>
種田委員	<p>ほとんどの課題の取組みにおいて、動画配信やWEBの活用が必要な状況であることは、今般の感染状況の拡大を考慮すると、必須であり賛同するところですが、具体的にどのように進めようとしているのかが不明です。具体的に明示されないと、実現困難ではないでしょうか。</p> <p>上記と関連して、この機会に、様々な取組みにおいて、ICTを活用する体制の拡充が不可欠ではないでしょうか。一方で、従来からある電話を利用した方法も有効であると考えます。例えば、Zoomには電話で会議に参加する方法が備わっており、音声だけでも、相互に意見交換が可能です。</p>	<p>保健所では、今年度、通信基盤の整備やWEB会議等の開催が可能なオンラインシステムの導入を進めてまいりました。</p> <p>令和2年9月及び令和3年3月には、cisco webexオンラインシステムを利用し、新型コロナウイルス感染症対策に関するWEB研修会を管内医療機関や介護事業者等を対象に開催しております。またこの「地域医療システム化推進部会」についても、当初はWEB会議形式を予定しておりましたが、新型コロナウイルス感染症感染拡大の状況を踏まえ、書面開催とさせていただきます。</p> <p>こうした実績や東京都におけるYouTubeでの動画配信研修などの先行事例を参考に、各事業においても積極的、効果的な活用を検討してまいります。</p> <p>御指摘いただきましたとおり、様々な取組において、ICTのより一層の活用が求められる状況でございます。保健所としても様々な先行取組事例を参考に、引き続き体制の拡充に努めてまいります。</p>
種田委員	<p>患者・住民から「患者の声相談窓口」に寄せられた相談・苦情において、新型コロナ感染症の影響と思われる事項の有無など、詳細な分析をお願いします。そのことが、今後の対応のヒントとなります。</p>	<p>会議資料4でお示しをしております「患者の声相談窓口の相談実績（令和2年4月～11月）」における相談件数合計200件のうち、57件が新型コロナウイルス感染症関連の相談及び苦情でした。</p> <p>内容については、発熱等の症状がある方からの受診相談やPCR検査が受けられる診療所を紹介して欲しい等の相談が39件、受診を断られたことへの苦情や診療所の感染予防対策についての苦情（待合室が密になっている、院内の消毒や換気が不十分ではないか）等、苦情が18件となっております。</p> <p>資料4「令和2年4月～11月相談実績」の「③相談の対象となった医療機関」の項目において、「診療所」の割合が前年同期から10%以上高くなっていること、また「④相談・苦情の対象となった診療科目」の項目において、「内科」が前年同期から大きく増加していることにも、新型コロナウイルス感染症に関する相談・苦情が影響しているものと考えております。</p> <p>いただいた御意見を踏まえ、今後は新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえた観点からの分析も加えてまいります。</p>
事務局まとめ	<p>いただいた御意見、御質問は、西多摩保健医療圏地域保健医療推進プランの今後の事業実施の参考にさせていただくとともに、進行管理や評価の際にも参考にさせていただきます。</p>	

提出委員	御意見	事務局回答
【(2) 脳卒中医療連携推進事業及び糖尿病医療連携推進事業について】		
種田委員	<p>新型コロナウイルス感染症の影響によって、それぞれの連携に様々な支障を来していることが想定されます。例えば、感染の可能性がある場合には緊急患者の受入れ、連携先への転院などが困難となる、などです。また患者自身が必要な継続的な治療・ケアを中断していることも懸念されます。</p> <p>両者の事業におけるこれらの懸念事項について、医療関係者及び患者・住民からも、情報収集し、詳細な分析をお願いします。そのことが、今後の対応のヒントとなります。</p>	<p>脳卒中医療連携推進事業では、今年度開催した脳卒中医療連携検討会において、新型コロナウイルス感染症の発生状況についての情報共有や委員所属の各機関における対応状況などを共有しました。また糖尿病医療連携推進事業では、糖尿病医療連携検討会における今年度の事業展開に係る協議の中で、患者への影響などの懸念課題が挙げられておりました。</p> <p>今後も圏域別検討会での協議等を通じ、新型コロナウイルス感染症の影響により生じた課題の共有とその対応について協議、検討を進めてまいります。</p>
事務局まとめ	いただいた御意見は、今後の事業実施の参考にさせていただきます。	
【その他御意見】		
玉木委員	さらに地域としてのオンライン会合や研修のインフラ整備、スキルアップを促していただきたく存じます。	<p>各関係機関におかれましては通信インフラの整備等に取り組み、WEB会議等オンラインシステムの活用を進めておられることと存じます。</p> <p>保健所におきましても、WEB研修会の開催実績や東京都におけるYouTubeでの動画配信研修などの先行事例を参考に、様々な事業での積極的、効果的な活用を検討してまいります。</p> <p>圏域におけるICTを活用した情報共有等の推進に資するよう、地域の皆様とともに保健所もスキルアップしていきたいと考えておりますので、引き続きよろしく願いいたします。</p>
松山委員	本当にこの1年間お疲れ様でした。あとひとふんばりしましょう。	<p>ありがとうございます。</p> <p>地域の関係機関の皆様の御理解、御協力に感謝申し上げます。</p> <p>また、圏域住民の皆様の感染拡大防止に関する取組への御協力にも合わせて感謝申し上げます。</p>
進藤委員	在宅療養、見守りのシステム化が必要と感じています。	<p>平成29年度より地域医療構想調整会議や在宅療養ワーキングが開催され、その会議を受けた圏域の会議の中で、西多摩医師会によるICTの活用や多職種ネットワークによる療養患者の支援等が検討されてきております。</p> <p>また、各市町村においても、高齢者福祉計画等に在宅療養の推進を掲げ、医療機関や介護事業者等と連携した取組を進めておられます。</p> <p>御指摘のとおり、今後も引き続き多機関・多職種が連携して在宅療養患者を支える体制の構築を進めてまいりたいと考えております。</p>

提出委員	御意見	事務局回答
秋間委員	<p>新型コロナウイルス対策に日々懸命に努力している保健所の皆さんに感謝の気持ちと一刻も早い収束を願い、安心して暮らせる日常生活に戻ることを期待します。</p>	<p>ありがとうございます。 地域の関係機関の皆様の御理解、御協力に感謝申し上げます。 また、圏域住民の皆様の感染拡大防止に関する取組への御協力にも合わせて感謝申し上げます。</p>
栗原委員	<p>コロナの影響で今年度の事業については、中止又は縮小となっており、これはいたしかたないと思う。来年度事業実施できるよう、ICTを利用し、継続の必要があると思う。</p>	<p>新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響を受け、今年度は様々な事業が中止又は縮小せざるを得ない状況となりましたが、保健所では、通信基盤の整備やWEB会議等の開催が可能なオンラインシステムの導入を進めてまいりました。 保健所におけるWEB研修会の開催実績や東京都におけるYouTubeでの動画配信研修などの先行事例を参考に、その他の事業においても積極的、効果的な活用を検討してまいります。</p>
種田委員	<p>新型コロナ感染症への対応として、当該地域での連携の現状やあり方について、図などで明示されると、今後の取り組みの参考、改善のための基盤になると思います。 例えば、地域で疑いの住民が発生したときの対応、感染疑いのある患者の救急搬送の対応、（指定）医療機関の病床が逼迫したときの対応、急性期から回復した患者の受け入れができる後方支援病院の有無、高齢者施設等への対応、など。</p>	<p>新型コロナウイルス感染症への取組については、西多摩新型インフルエンザ等感染症地域医療体制ブロック協議会及び各部会において、課題の共有や協議検討を進めております。 いただいた御意見も参考にさせていただき、今後も西多摩圏域における新型コロナウイルス感染症対策を推進してまいります。</p>
瀬谷委員	<p>新型コロナを踏まえた災害時の対応では、医療機関、保健所、市町村の役割分担と連携についてしっかりと協議していく必要があると思います。</p>	<p>御指摘のとおり、新型コロナウイルス感染症を踏まえた災害時の対応については、医療機関、関係団体、市町村、保健所等の役割分担と連携体制の構築について、協議、検討を進めていく必要があると考えております。 西多摩地域災害医療連携会議や西多摩新型インフルエンザ等感染症地域医療体制ブロック協議会等における協議を通じ、関係機関相互の連携体制の構築を進めてまいります。</p>